

- トップページ
- めざすべき未来
- プロフィール
- メッセージ
- 後援会
- メール
- こんにちは板東です

一般質問の傾向

各議員が個々の権利として行う一般質問では、様々なテーマが取り上げられます。例えば、本市の課題で差し迫っているものや、将来を見据えたもの、報道等でクローズアップされている社会な課題やそれに対する本市の取り組み、季節によって発生する事象、過去に質問した内容の進捗状況などです。

6月議会と9月議会の質問を、性質別に分けるため、便宜上、各常任委員会に振り分けてみると以下のようになります。

	6月議会	9月議会
総務分野	17	22
厚生分野	30	31
建水分野	13	13
文教分野	16	19

更に、9月議会での厚生分野の質問を細分化すると、多いのは、子ども関係（11）環境関係（6）でした。

子どもに関する質問を更に分類すると、主に、子どもの貧困対策、虐待防止などです。また、文教分野でも留守家庭児童会に対する質問についても、取り上げる人が多くいました。

この2年間での傾向は、子どもに関する質問が多いように感じています。逆に、高齢者に関する質問の数は減少気味です。改選による議員構成の変化や、待機児童問題や子ども食堂など子どもに関わる報道による影響が大きいのではないかと考えております。

1. 香里園地域の浸水対策

前回のBANDO PRESSで記した、私の考える浸水原因、それに対する改善策について、行政の認識と対応を質しました。

2. 0歳児数の推移

子ども子育て支援事業計画やZEROプランにおいて、待機児童対策に力を注いでいます。しかし、その対象となる0歳児が、人口推計よりも少なくなっている。それも、年々減少傾向が大きくなっていることについて、私の考える原因を示すとともに、対策を質しました。

3. 新たな基金の設置

市庁舎の建築年を考えた場合、新庁舎建設への貯金を始める時期に差しかかっています。他の自治体では、約20年間をかけて貯金を積み上げています。その準備行為に入るよう提言するとともに、考えを質しました。

4. ICT技術活用への挑戦

第4次産業革命と明言がある前から、ビッグデータ、オープンデータ、スーパーコンピューターの活用などを提言し、その後大きく進展したAIやIoTの利活用も具体的事例を提言してきました。今回は、具体例ではなく、それを導入するか否かの決意・勇気など、人の問題として取り組み推進を求めました。



重度障害者の医療制度

大阪府が福祉医療費の助成制度を変更したことで、老人医療費の助成制度が廃止され、身体障害者及び知的障害者の医療費助成の名称が「重度障害者の医療費助成」に改められます。平成30年4月からの実施です。

- ◆身体障害者1・2級所持者
療育手帳A所持者
身障手帳3～6級かつ療育手帳B1の人 } 年齢に関係なく、全員が「重度障害者医療」の対象となります。
 - ◆精神障害者保健福祉手帳1級
重度の難病患者（330疾病） } これまで対象外だった64歳以下の人も、「重度障害者医療」の対象となります。
- これらの方々の自己負担額は、月額上限が3,000円となります。
超過額は、自動的に返還できるよう、システムの改修を行っています。
- ◆65歳以上で
精神通院医療対象者、難病患者で軽度の人 } 平成33年4月1日からは、自立支援制度に移ります。
結核患者全員 } それにより、自己負担も変わります。

大阪府は、制度変更の背景には「障害者自立支援法や難病法によって、医療費の公費負担制度が国により整備されてきたこと」と説明しております。
64歳以下の精神障害者や難病患者の重度の方々に、福祉医療助成が拡充されたことは、喜ばしいことですが、一方、軽度の方々の自己負担は重くなってしまう。
制度の持続可能性を考えるとともに、変更となってからの運用状況を、しっかりとモニタリングし、検証していく必要がある事案です。



道路の掘削

「年度末には、道路工事が多い」という声がありました。

	平成27年度	平成17年度
水道管	155	159
下水道	114	66
ガス管	350	331
電気	191	212
電話	31	71
その他	237	159
合計	1078	998

道路の掘削など工事を行うに当たって、年度当初に大阪ガス、関西電力、NTT、行政などの関係機関が集まって、当年度の工事個所の調整を行っています。当然、同じ場所であれば、同時に行う方向での調整となります。

経済的メリットを得ようとするなら、複数年の工事計画を突き合わせ、場合によっては、工事の年度を変更するべきと考えております。

過去の委員会では「民間企業では、複数年の計画を立てていないことのできない」旨の回答がありましたが、関係者が更に知恵を絞る事案だと考えております。

トピックス

今議会を通じて明らかとなった事柄をご報告いたします。

○留守家庭児童会の土曜開所

利用する人を確認するためのアンケート調査が実施されています。そのニーズ量を基に、運営形態の検討に入っています。先行市での利用率は、約20%程度ようです。

場合によっては、数校の児童を1か所に集まっていたこと、その場合の安全対策なども想定しつつ、決めていかなければならない事項の検討に入っています。

平成30年度の4月に目標を置きつつも、答弁では「早い時期に実施予定」とされました。

○子どもの貧困対策への道筋

経済格差の連鎖。それを確認するため、昨年、大阪府は各市町村と連携し、抽出による実態調査を行いました。

私は、府内でも地域によっては違いがあることから、本市独自に悉皆調査を行うべきと考えております。

本市の考えは、「今後大阪府が提案する施策内容を確認した上で、本市独自の調査の必要性を検討する」とのことです。

○中学校給食について

今後5年間給食を提供する事業者が決定されました。

温かい給食に対する期待が多く、「『給食のあり方検討委員会』において、デリバリー方式で、かつ、できるだけ早期に実施できるよう検討を進める」とされました。

私は、食缶方式での実施を求めています。食器等の買い替えの必要もありますが、最も早い解決方法だと考えていますし、本議会で「平成35年度以降は、センター方式、又は自校方式を含め検討する」ことも明言されたわけですが、それらにも食器は活用が可能です。

今の中学校給食がおいしくないとは考えておりませんが、「冷たい」ことが原因と広く伝わっている以上、その課題を消す行為は政治判断としても必要だと考えております。

○橋梁の長寿命化のための修繕工事

翌年度以降に予定していた橋梁の修繕工事のうち、健全度が低く、比較的短い工期で可能な橋梁について、国の補助金の目処が立ったことから前倒しして行います。

- | | | |
|---------------|---------------|------------------|
| (1) 池田新町16番付近 | (2) 池田本町20番付近 | (3) 池田本町30番付近 |
| (4) 桜木町2番付近 | (5) 長栄寺町1番付近 | (6) 木田元宮2丁目10番付近 |

総事業費約6,320万円で、本年度中に工事も完了する予定です。

○対馬江大利線の整備促進

翌年度に実施する予定であった物件調査の内、権利者と合意が得られているものについては前倒しして調査を行うための補正予算が計上されました。

建物・・・15件 工物物・・・3件 賃借物件・・・37件 合計・・・55件

予算額は、約5,270万円です。

物件調査で残っているのは、建物18件、工物物20件、賃借物件7件となります。

○就学援助・入学準備金の前倒し支給

新たに小学校・中学校に進学する新1年生の家庭の経済状況によっては、進学後の8月に入学準備金を支給しておりました。

その性質上、入学前に支給するのが望ましいものであり、決算委員会や厚生常任委員会でその課題を指摘し、改善を求めておりました。その内容と同じことが国でも議論され、国は前倒し支給の結論を出しました。

そこで、新1年生からは、3月の支給となります。

ただ、新小学生のランドセル商戦を考えると、以前はクリスマスや正月時期、今はお盆時期からゴールデンウィーク時期へと変わってきています。更に改善を要する事案です。

